

当日の授業案

一時限目 未来社会を考える

| 進行 | 内容 | ねらい・留意点 | 教材他 |
|-------------|--|---|---|
| 導入 3分 | 授業の目的・ねらいについて説明。 | 授業の方向性の理解。 | |
| 展開1 10分 | 未来社会のキーワード ポイントレクチャー。 例)ロボット、水耕栽培、水素自動車、ドローン ⇒無くなる職業がある。 | 未来社会について理解させる。 パワーポイントなどを活用し、資料や事実をベースに解説する。 | パワーポイント |
| 展開2 10分～15分 | <個人ワーク> ドローンの登場でどんな未来になるか。 未来社会で新しい技術1つが世の中をどのように変えるか考えて、付箋に書き出す。(KJ法) | 未来に向けてすでに現在起きていることに興味を向ける。 ・個人で行う作業の質問内容を読み上げる。 ・時間の指示を与える 例「10分でそれぞれの質問に対する自分の答えを書き出すこと」等。 ・付箋には1つの質問に対し1つの答えを書く。大きくわかりやすく書くように指示する。 ・生徒の回答を見て、適宜アドバイスやコメント(相づち)を行う。意見が出ないときは教員がヒントを与え | パワーポイントなどでドローンの映像を出す。 ワークシート1(質問票) 付箋 |
| 展開3 15分～20分 | <グループワーク> KJ法で書き出したそれぞれの考えをグループの意見として模造紙にまとめていく。 ・グループのメンバーと自分が考えた答え(付箋)を、問いごとに模造紙に貼り付けていく。 ・各々の内容で、似たもの同士をグルーピングし、タイトルをつけていく | 未来に向けてすでに現在起きていることに興味を向ける。 ・KJ法についての解説を行う。 ・模造紙の使い方。 ・付箋のグループ分けなど指示する。 | ワークシート1(質問票) 付箋 ペン 模造紙 |
| 展開4 10分 | <意見交換/シェアリング> それぞれのグループの考えた意見を発表し、互いの意見を理解する。 ・それぞれのグループでまとめた模造紙を黒板などに貼って、全体に向けて発表。 ・発表後は、温かく拍手をするように促す。 | 未来への道筋の広がり共有する。 ・発表の指導や、発表者の話を聞く指導を行う。 ・最初の発表は挙手制、先生の指名どちらでも良いが、発表の内容が良い、発表が上手な班から発表させるとその後のグループの発表がスムーズにいく。 ・発表した模造紙を黒板等に張っておくと、後でもう一度見ることができる。 | 付箋を貼った模造紙 マグネット |
| まとめ 2分 | 1時間目のまとめ。 「未来社会では、皆と同じ考えで同じ事をやっているのはダメ」ということを理解する。 | 1時間目のまとめとして、「未来社会では、皆と同じ考えで同じ事をやっているのはダメ」ということを理解させて、次の授業に備える。 | |

二時限目 いたい未来と自分をつなげる

| | | | |
|---------|--|---|---|
| 講義 2分 | 1時間目のKJ法でまとめた各班の模造紙発表で、目立ったものや共有しておきたい回答について、内容を再確認する。 | 未来への道筋の広がり共有する。 | 1時間目のワークシート1 |
| 展開1 25分 | <個人ワーク><グループワーク><全体シェア> 1時限目で考えた未来社会に向けて、「今自分が身につけるべき能力は何か」を考える。 ・各自で簡単に考えたのち、グループでディスカッション。 ・その後、全体に発表し、意見を共有。 | 自分軸に意識を移行させる。 ・時間があれば、<個人ワーク>付箋に考えを書く→<グループワーク>模造紙に貼り、グルーピング→その後全体に発表する。 | 付箋(さらに時間があればワークシート2を使用しても可) 模造紙 質問票 |
| 展開2 20分 | <個人ワーク><意見交換/シェアリング> アクションプラン「未来シナリオ」を書き、シェアする。 ・用意した「未来シナリオ」シートの空欄を埋める。 ・その後、それぞれの「未来シナリオ」を共有する。 | 未来をつくる一員としての生活を始める意識を持つ。 ・班でシェア、もしくは時間が許せばクラスで全員発表。クラスで班の代用者が発表し、それぞれの考えをシェアすることも可能。 | ワークシート(アクションプラン) |
| まとめ 3分 | 全体への振り返り・コメントをして終了。 | | |